

今の時代どこでシステムが崩壊するかわからない！何かあってからでは遅い！！

# オンラインセキュアバックアップ

- ・災害(地震・水害・火災・落雷・台風・津波等)
- ・人災(破損・操作ミス・事故)
- ・ランサムウェア感染、ウィルス被害、有事(テロなど)・
- ・工事などの事故 など 事業所外に重要データを暗号化バックアップ



## こんなお悩みに応えます！



データの外部保存をしたいが・・・



クラウドを利用するのは怖い



容量が大きすぎて、費用が高つく



オフラインなので、外部に逃がせない



データベースファイルを保存したい



ランサムウェア、ウィルス感染対策

月額1TBまで  
月5,000円  
(税抜)より

システムは専用のPCを利用し、特殊なバックアップソフトを利用します。  
クラウドの保存される際には、暗号化+圧縮がかかり、ファイル名もランダムで保存されます。外部から閲覧することはできません。  
※データの復元の際には、別途作業費用が発生します。

お問い合わせは下記まで！！

TEL 0942-65-4172

<http://csgjpn.com/>

[inquiry@csgjpn.com](mailto:inquiry@csgjpn.com)

※お電話に受付は平日の10:00~17:00になります。

CSGジャパン(株)

# 災害対策 大容量データ 暗号化・圧縮バックアップシステム

昨今 水害、台風、高熱の被害が急増しています。SSD であれば HDD と違い水没の場合でも、故障する確率が低く、データが確保される確率も高いのですが、火災、落雷、地震東海、盗難、ウィルス、ランサムウェア、悪意のある人的攻撃、ハッキング（クラッキング）などによるデータの損失の可能性もあります。

これらの被害の場合、事業所内にデータのバックアップを取っていても、対応できない可能性が十分にあります。

クラウド（ネット上、オンライン）にデータを保管するのも怖いという考えが大半です。暗号化などを施してバックアップを行えば、第三者は中身を見ることもできませんし、漏洩しても開けないので情報が洩れません。

しかし！！手間がかなりかかります。また、クラウドは事業所内のネットワークと違いインターネットを利用するため、通信中に傍受、のぞき見などされる可能性もありますし、一番のネックはスピードです。

これらのすべてを解決する仕組みを、構築しましたので、お知らせいたします。

下記は、クラウドへのバックアップのイメージ図です。

